

委員会活

われています。

また、木育推進員を委嘱し、岐阜県立森林文化アカデミーにおいて

森林環境教育関連の講座等のコーディネートが行われ、20年から5年間で120

回以上の木育教室が開催されています。

◎山県市では、乳幼児健康診断の際に、木育を活用した子育てを支援されています。全国的に著名な市内在住の絵本作家にデザインを依頼し、市独自の「木のおもちゃ」

の開発、県産材の生産加工、流通及び需要の拡大と市内の県産材取扱業者の振興に努めてありました。◎美濃市においては、木のおもちゃをコンペ方式で公募し、「うだつ」を取り入れた「うだつの色積み木」を完成させたとのことです。

美濃和紙を使った「あかりの街並み」

伝統的地場産業（美濃和紙）の取り組み

◎また美濃市では、国の重要文化財でもある美濃手漉き和紙の伝統的地場産業の取り組みについて説明を受けました。

美濃手漉き和紙の振興、後継者育成と観光を目的に平成6年に美濃和紙の里会館が建設されました。ここでは紙漉き体験ができ、市内の小中学校では自分で漉いた和紙を使用した卒業証書を作成されています。

草津未来研究所の取り組み

◎草津市で視察した「草津未来研究所」は、立命館大学とタイアップして草津市の政策審議機能の充実を目的として設立されました。年間予算は800万円程度で、所長に立命館大学の経済学部長が就任するなど、行政と大学が一体となつて市長への提言を行うとのことでした。

調査研究のテーマは、人口問題や行政システムの改革、消費流通から見た六次産業、医療福祉、広域行政などのあり方などで、何をやっているのか外からは見えづらいという批判もあるそうです。

要望行動報告！

花宗川強制排水ポンプ設置に関する調査特別委員会

【要望事項】

- 花宗川本川改修事業の促進
- 花宗水門への強制排水ポンプの設置

国土交通省九州地方整備局及び筑後川河川事務所への要望行動

◎11月5日に、市長及び花宗川強制排水ポンプ設置に関する調査特別委員8名で、国土交通省九州地方整備局の大原副局長、河川調査官及び筑後川河川事務所の事務所長等に面会しました。

この中で近年、過去に経験したことのない集中豪雨等により、道路の冠水、床下浸水等が多く発生し、市民の不安も増大しているこ



国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所での要望行動

とを強く訴え、長年の懸案事項の解消のため、要望事項の早期着手を強く要望しました。

国土交通省等への上京要望行動

◎11月20日、21日に、市長、副議長、産業建設委員長による建設事業要望活動に併せ、花宗川強制排水ポンプ設置に関する調査特別委員4名も上京し強力に要望を行いました。



地元国会議員に要望書を手渡し、実情を訴えた

20日の国土交通省では坂井国土交通大臣政務官をはじめ関係者及び地元選出衆参国會議員に、また、21日には、財務省の主計局長をはじめ関係者及び佐賀県選出の衆議院議員で自由民主党の今村副幹事長とそれぞれ面会し、近年の自然環境の脅威及びこれに伴う本市の実情を説明し、要望事項に関し、事業の早期着手を強く要望しました。